



清酒醸造元

長沼合名会社



屋号
「カクダイ」

- 創業
- 蔵元代表者
- 住所
- TEL/FAX
- 年間生産量
- 銘柄
- 仕込水

大正5年(1916年)
 長沼 惣右衛門
 〒993-0086 山形県長井市十日町1-1-39
 0238-88-2007/0238-88-2087
 約250石(平成23年度)
 惣右衛門, 惣邑, 誉小桜
 奥羽山脈 朝日連峰 置賜野川伏流水(軟水)



蔵の歴史

大正5年創業。当時長井には酒造会社がなく「酒代が莫大」という意見を聞き、10代目長沼惣右衛門が呉服屋を閉め酒造業を開始。当初は「雄國」「小桜」の名で地元で愛されていました。その後、代表銘柄を「誉小桜」と改め、特定名称酒に本格的に力を注ぐようになります。平成11年、現当主12代目惣右衛門は商売拡大の為「惣邑 純米吟醸 羽州 誉」を発売。長沼家の酒が長井市から全国へと広がるようになりました。そして平成19年には若夫婦が酒造りを引き継ぎ、平成22年に「惣邑シリーズ」を新発売し更なる発展を目指します。

酒造りに対するこだわり

山形県長井市は「水と緑と花のまち」として知られています。長井の地名は“水の集まる場所”に由来しており、最上川・野川・白川が合流している『水』の豊かな地です。この地で水と米の良さを生かした酒造りをする為、昔ながらの手仕事・手造りにこだわりを持ち、洗米は手洗いを徹底、麴は麴蓋を使用、特定名称酒は全て900kg以下の小仕込みで行い、搾りは二つの槽(ふね)だけで優しく搾っています。酒質へのこだわりは、香りが穏やかで食事との相性が良い酒を造ること、そして単なる食中酒で終わることなく飲む人の心に響く酒にすることです。

惣邑の由来

地元長井市には、樹齢千二百年の「久保桜」があります。この桜を守るかのように、手仕事に魅せられ、こだわりを持ちつつも肩肘を張らずに物づくり(陶芸, 漆工芸, 獅子彫り工芸)を続ける職人達『手しごと衆・つくりと邑(むら)』がいます。この『つくりと邑』の心と当主『惣右衛門』の名をひとつにし、手造りの心を託して **惣邑** と命名しました。



【久保桜】長井市伊佐沢
 国指定天然記念物の桜。
 樹齢千二百年といわれており、桜の季節には全国から多くの観光客が訪れます。『手しごと衆・つくりと邑』がいる地区です。



【小桜館】長井市大町
 旧西置賜郡役所、当蔵より徒歩2分。
 現存する郡役所としては全国で2番目に古いものです。かつてこの一帯が伊達政宗の家臣・片倉小十郎の館があったとされ、その名が“小桜城”でした。「誉小桜」はここから生まれました。